

国指定史跡

地蔵田遺跡

弥生っこ村

出土品展示施設



地蔵田遺跡の土器や石器などの貴重な出土品（秋田県指定有形文化財）を展示し、パネルや映像などで遺跡を詳しく解説しています。また、企画展示コーナーでは、毎年テーマを変えて御所野台地の遺跡を紹介します。

弥生っこ村



▲差し茅講座



土器づくり講座▼

木柵で囲まれた弥生時代（2,200年前）のムラが、全国で初めて発見された遺跡。

全国に先駆けて、市民による手づくり整備を行いました。

現在は、ボランティア団体「弥生っこ村民会」が遺跡のガイドやメンテナンスなどに活躍しています。

弥生っこ村・出土品展示施設 ご利用案内

観覧時間

午前9時～午後5時

土・日・祝日はボランティア
ガイドが常駐しています
午前10時～午後4時（11月は3時まで）

観覧料 無料

開館日 4月1日～11月30日

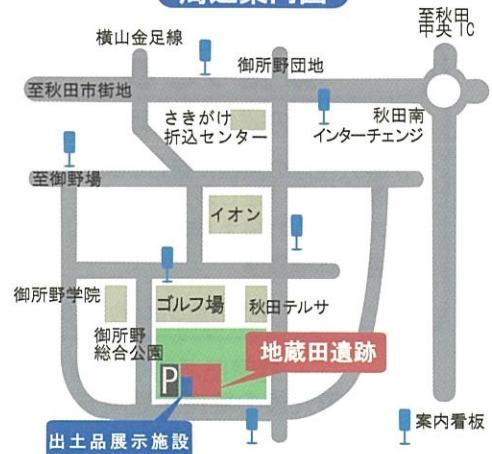
所在地

秋田市御所野地蔵田三丁目
御所野総合公園内

問い合わせ

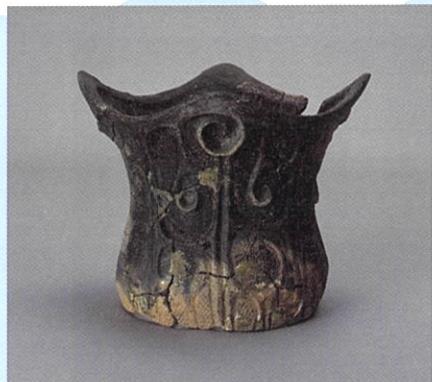
秋田市文化振興課
秋田市山王一丁目1番1号
電話：018-888-5607

周辺案内図

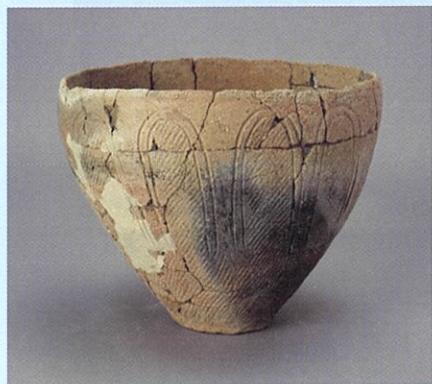




平成29年度企画展示 縄文時代中期後葉の御所野台地



湯ノ沢D遺跡出土 [大木9式土器]

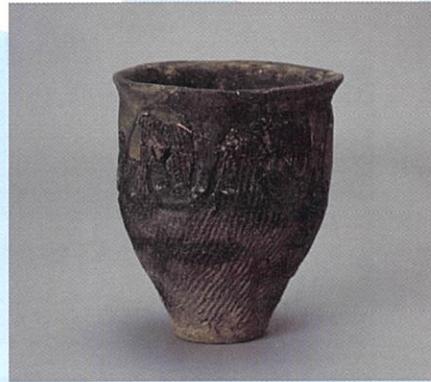


地蔵田A遺跡出土 [大木9式土器]

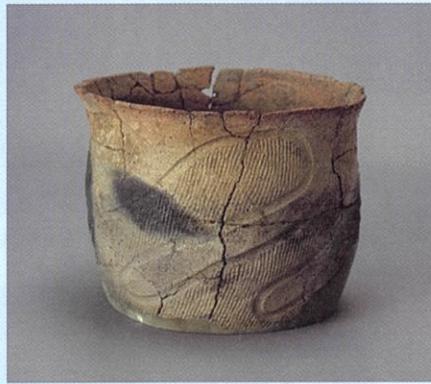
縄文時代の御所野台地では、遺跡数が最も多くなるのが中期後葉です。温暖な気候に恵まれたこの時期は、台地のほぼ全域で遺跡が発見されています。特に、沢に面した日当たりの良い場所にムラが営まれる傾向があったようです。人々は、沢から水を汲み、雑木林に分け入って食料を調達するなど、恵まれた自然環境の中で生活していましたことでしょう。

ここ地蔵田遺跡でも、この時期の遺構や遺物が数多くみつかっており、ムラを営む快適な場所であったことが分かります。

この度の企画展示では、縄時代中期後葉に営まれた御所野台地の遺跡群の中から、いくつかを紹介します。今と変わらず人々が集い、暮らしを営んだ当時の様子に思いを巡らせながら、ご覧いただけすると幸いです。



坂ノ上E遺跡出土 [大木10式土器]



坂ノ上E遺跡出土 [大木10式土器]



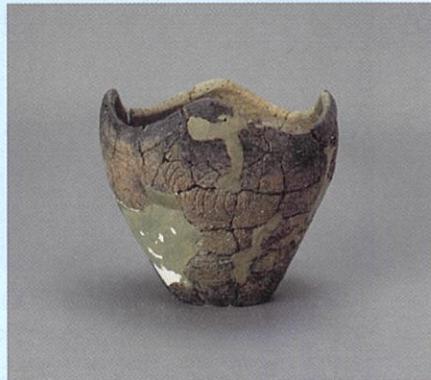
19号竪穴住居跡 [坂ノ上E遺跡]

※写真手前が複式炉

竪穴住居跡

縄文時代の一般的な住居。地面を掘りくぼめ、底面を床(土間)とし、カヤや土などで屋根を葺いたと考えられています。

縄文時代中期後葉の御所野台地では、230軒を超える竪穴住居跡がみつかりました。この時期は、複式炉が付設されるのが特徴です。



下堤F遺跡出土 [大木10式土器]

弥生っこ村民会 会員募集中！

弥生っこ会

史跡の維持・管理

- ①竪穴住居の屋根に新しい茅を差し込む「差し茅」
- ②木柵の入れ替え(年 20~40 本)
- ③各種体験講座

年間活動日数：約 30 日

ボランティアガイドの会

史跡のガイド

- ①土・日・祝日に常駐
- ②見学依頼があった場合 その都度対応

年間活動日数：約 20 日
(土日祝を除く)

土器どきっこ会

土器の復元・製作

- ①史跡で活用するための土器を作る
- ②土器づくり体験講座

年間活動日数：約 20 日

地蔵田遺跡は全国で初めて手作り史跡整備として多くの市民や生徒の手で復元しました。復元後の維持や活用も市民が中心となって行っています！私たちと一緒に楽しく活動しませんか？

問い合わせ 秋田市文化振興課 TEL:018-888-5607 FAX:018-888-5608